様式第1号(表)

建　物　り　災　申　告　書

年　　月　　日

筑後市消防署長

申告者　住　　所

職　　業

氏　　名

電話番号

（又は他の連絡先）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| １ | り災年月日 | | 年　　月　　日 | | り災物件と  申告者の関係 | | 所有者・管理者・占有者 | |
| り災場所 | | 筑後市大字 | | | | | |
| ２ | り災前の建物概要等 | 建物用途 | |  | | | | |
| 構造 | |  | | | | |
| 屋根 | |  | | | | |
| 外壁 | |  | | | | |
| 階数 | | 地上　　　階　・　地下　　　階 | | | | |
| 建築面積 | | ㎡ | | | | |
| 延べ面積 | | ㎡ | | | | |
| 建築年月 | | 年　　　　月 | | | | |
| 建築時の坪（3.3㎡）単価 | | 円 | | | | |
| 総額 | | 円 | | | | |
| 損害別 | | 焼　・　爆　・　消　・　他 | | | | |
| ３ | 火災保険 | 保険会社 | | 契約者氏名 | | 契約年月 | | 保険金額 |
|  | |  | | 年　　月 | | 円 |
|  | |  | | 年　　月 | | 円 |
| ※　受　付　欄 | | | | 特　記　事　項 | | | | |
|  | | | |  | | | | |
| 提出丁数： | | | |

※受付欄は、受付をする際に使用しますので記入しないでください。

様式第１号(裏)

建物り災申告書記載要領

（１の欄）「り災物件と申告者の関係」の欄は、当てはまるものに〇で囲んでください。

（２の欄）

　１　「建物用途」の欄は、り災前の建物用途を記入してください。

　２　「構造」の欄は、建物の主要構造部を記入してください。（例：木造、鉄骨造、耐火造等）

　３　「屋根」の欄は、建物の主要構造部を記入してください。（例：陸屋根、瓦葺、トタン等）

　４　「外壁」の欄は、建物の主要構造部を記入してください。（例：板張り、サイディングボード等）

　５　「階数」の欄は、建物の階数を記入してください。（例：地上２階、地下０階）

　６　「建築面積」及び「延べ面積」の欄は、それぞれの面積を記入してください。

　７　「建築年月」の欄は、建物の完成年月を記入してください。

　８　「建築時の坪（3.3㎡）単価」及び「総額」の欄は、建物の完成日と3.3平方メートル当たりの建築費用を記入してください。

　９　「総額」の欄は、建築時の総建築費用を記入してください。

　10　「損害別」の欄は、当てはまるものに〇で囲んでください。

　　(1)　焼：火災によって焼けた物、熱によって炭化、溶融、破損した物又は火災の煙による損害

　　(2)　爆：爆発現象により受けた物件の破損、汚損、倒壊等の損害

　　(3)　消：火災の消火行為に付随して起きる水損、破損、汚損等による損害

　　(4)　他：上記以外の損害

　11　所定の欄に記入しきれない場合は、別紙に記入して添付してください。

例

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ２ | り災前の建物概要等 | 建物用途 | 住宅 |
| 構造 | 木造 |
| 屋根 | 瓦葺 |
| 外壁 | モルタル |
| 階数 | 地上　２　　階　・　地下　０　　階 |
| 建築面積 | 30　　㎡ |
| 延べ面積 | 60　　㎡ |
| 建築年月 | 平成　22　年　3　月 |
| 建築時の坪（3.3㎡）単価 | 200,000　円 |
| 総額 | 3,600,000　円 |
| 損害別 | ・　爆　・　消　・　他 |

（３の欄）「火災保険」の欄は、必ず記入してください。（加入の無い場合は「加入なし」と記入して　　　　　ください。）なお、保険会社の枠に記入できない場合は、特記事項に記入してください。

注意事項

　１　この申告書は、消防法第34条に基づいて提出を求めるものです。

　２　この申告書は、り災した日から起算して７日以内に提出してください。

　３　申告者の連絡先は、あなたに連絡がとれる住所及び電話番号等を記入してください。

　４　この申告で分からないことがありましたら、下記までご連絡ください。

　　　筑後市消防本部　予防課　指導担当

　　　電話番号　０９４２－５２－２０２０（内線３５）